

第2回 石見養護学校 学校運営協議会 報告

1. 日時 令和5年10月16日（月曜日）14:00～16:00
2. 場所 石見養護学校 会議室
3. 次第

<はじめに>

- 1 開会 10名中8名出席により、協議会成立。
- 2 教頭挨拶

<議事>

- 3 学校評価中間評価について説明・地域連携の取り組みについて

(1)重点目標にかかる中間評価

学校より始めに、評価基準の考え方について学校より説明

- ・昨年度の反省を受け、自己評価の基準が判断し易いように評価基準の数値を提示した。
- ・アンケート数値の評価がそのまま自己評価につながるのではなく、各学部、分掌の評価基準に達していないと判断し、評価が低くなっているものがある。
- ・特に、教務部のICT活用は県からの要請もあり、部内の目標基準を高めに設定してある。
- ・昨年度の反省を受け、アンケートの取り方を変更し、部内評価だけでなく、全体からの評価も数値化して表し、自己評価の参考になるようにした。

ご意見等

- ・全体的に評価が高く良いと思うが、C評価になっているところは気になる。要因分析を行い、今後の改善に努めていただきたい。
- ・全体評価の「わからない」の数値は省いても良いのではないか。
→(学校より)「わからない」というのも、評価する上での参考意見としてとらえている。
- ・人権教育については、アンケートの自己評価グラフがないのはなぜか。
→(学校より)人権教育は、分掌業務ではなく、委員会組織で取り組んでいる。学部、分掌のアンケートに加え、独自で人権教育に関するアンケートを実施し、その結果を参考にして委員会にて自己評価を判断した。
- ・ICT活用とは具体的にどのような機器やアプリを使用するのか。
→(学校より)児童生徒の実態に応じて活用しやすいアプリを選んでいる。端末は、iPadが多く、アプリはCANVAをよく使う。(後日、具体的活用例の資料を紹介した。)

(2)地域連携の取り組みについて

○各学部、寄宿舎より、今年度の特徴的な取組について説明

- 小・中学部：授業への協力の拡がり ～ ヘチマ栽培、さつま芋栽培への地域外部講師
- 高等部：木育積み木サークルの紹介チラシ配布～ 地域の方の参画あり
- 寄宿舎：矢上高等学校野球部の練習球の補修作業～ 町のみらいファクトリー応募による実施

<意見交換>

- 4 石見養護学校（特別支援学校）における「学び」についての理解を深める

- ・特別支援教育コーディネーターより、「多様性」「一人一人の違い」についての理解を深める「理解教育」の説明を行う
- ・石見養護学校を説明する言葉について「学び方」に着目した意見交換を行い、委員間における共通理解を図る。
- ・コーディネーターの説明を聞く前後の説明の言葉の違いに着目しながら意見交換し、情報共有する。

【意見交換のまとめ】

- ワークを通して、石見養護学校についての理解が深まったという意見が多くあった。
- 意見交換の中で、「始めは、地域との関わりを大切にした学習をしているという特徴を思っていたが、それは、やり方（方法）であり、そのねらいは、学校卒業後に社会生活を送る上で生かせる力を身につけることであるということを理解できた。」という発言があった。
- その他に、「個々にあったペース、方法」「多様性」「自己理解」といったキーワードが多くあがっていた。
- 本校の学びについて理解を深めていただき、本校のことを地域へ発信してもらう役目を担っていただけるようお願いをした。

<おわりに>

- 5 事務連絡
- 6 教頭あいさつ
- 7 閉会